

税を考える週間「記念講演会」

## 『気象と災害 ～情報の見方と活用～』

11月12日(月)に大田区民プラザにて、税を考える週間「記念講演会」を開催致しました。

今年はテレビでもご活躍中の、気象予報士 半井小絵さんを講師にお招きしご講演頂きました。

半井さんは兵庫県のご出身です。早稲田大学大学院アジア太平洋研究科を修了。日本銀行在職中に気象予報士の資格を取得されました。2002年より2年間、NHK関東甲信越地方の気象情報を担当され、2004年より7年間、NHKニュース7で月曜から金曜までの気象キャスターを務められていました。

また、気象予報士としての知識を活かし、情報の伝え方、受け方の重要性などをテーマに気象や防災の講演を行っておられ、更には女優として舞台やコメンテーターなど幅広く活躍されています。

現在は特定非営利活動法人 火山防災推進機構 客員研究員、気象庁 地球ウォッチャーズ気象友の会 理事、日本災害情報学会 企画委員を務められ、櫻井よしこさん率いる言論テレビ、言論さくら組に出演中であります。このように、色々な顔を持つ半井さんですので、よく本業は何か？と問われることが多いそうですが、本業はあくまでも気象予報士であると笑ってお話されていました。

半井さんが気象予報士になったきっかけは、祖母が昭

和九年の室戸台風で被災し、自分は奇跡的に助かるも、たくさんの友人がお亡くなりになった話を聞き、その時しっかりとした気象情報があれば助かったかも知れないという事実と、その時から天気にも敏感になった祖母の影響を受けたからだということです。

また、最近では言論さくら組にて、ジャーナリストと学者の中でただ一人、一般国民視点で情報を聞き、話をする中で、メディアリテラシーを改善し、正確な情報を伝達することの大切さや、日本という国を日本人自身ももっと愛さなければならないことに気づくと同時に、気象予報士である自分も、災害時にはより正確な気象情報を伝えられれば多くの命が救え、そしてそれは近年自然災害が多発する日本を守ることに繋がるということに気づかされ、やりがいを感じられていると言っておられました。

そんな半井さんに、今回は気象情報に関し、見方や活用方法に留まらず様々なことを教えて頂きました。例として2005年の「杉並豪雨」の事例のお話がありましたが、晴れた天気が一変して1時間に112mm、数時間で263mmの局地的な豪雨(10mmの雨でも傘をささずには歩けない状態)に見舞われたというものです。しかし予報では大気が不安定な状態だったと言い、当時の天気図を見せて頂きながらご説明を頂きましたが、ご説明のとおり下層に温かい空気が、上層に冷たい空気がある状態



講師：**気象予報士**

なからい さ え  
**半井 小絵** 氏



でした。そのような場合は、外の天気が一見良くても条件が合ってしまうと局地的に豪雨が降る可能性があるため注意が必要だとのことでした。見た目の天気に関わらず、予報に耳を傾け、基本的な知識を持つことも大切なのだと教えられました。

基本的な知識と言えば、避難情報の聞き方も間違えている人が多いということです。避難情報は、自治体が出す情報で「避難勧告」、「避難指示」がありますが、これには緊急度の違いがあり、間違えている方も多くいらっしゃいます。

会場では来場者の方々に質問すると、半分くらいの方は「避難勧告」が一番緊急性の高い情報だと思われていました。しかし、一番は「避難指示」です。避難勧告と紛らわしいので今は「避難指示」のあとに「(緊急)」という文字が入っています。また、避難勧告の前段階で、避難に時間がかかる方向けに「避難準備・高齢者等避難開始」という情報もあります。

また、自分の住んでいるハザードマップは良く見ておき、どんな災害の可能性を知る必要があるということです。例えば、川の近辺に住んでいる方は、上流の天気も気にする必要があり、上流の水が下流に急激に流れ込み氾濫するなどの事例は多くあるそうです。そして大事なことは、「今まで災害に遭ったことが無いので自分は大丈夫!」と思わず、いつ何時の情報に備える心構

えが一番大事だとおっしゃっていました。

最後に、少しだけ気象予報士の裏側を教えてくださいました。気象予報士の皆さんは、ニュースの中でどんなことを話し、そこにどのような映像を組み合わせるのかを自分で制作しているそうです。また、ニュースの最後になるので2分の枠と言われていても、急に3分に延びたり、1分に縮んだりもするそうで、そのタイムラグをどうするかが一番苦労するそうです。

講演の後にはクイズを行って頂き、正解者にサイン入りの著書を頂くというとても嬉しいできごとがありました。

以上、終始明るい語り口調で、また初めて耳にするような情報も多く、あっという間に2時間が過ぎてしまうとても充実した講演会となりました。

研修委員 ソニックス(株) **金山 春樹**



クイズ正解者には  
半井氏サイン入の著書が  
プレゼントされました。